

無料

県内企業の取組事例を

聞いて今後の企業の 多文化を語ろう

外国人と
共に働く

外国人材担当者
必見のセミナー

今後も増加が見込まれる「外国人材」と呼ばれる人たち。「課題」「対策」という言葉で語られることが多いですが、私たちの目線や向き合い方を変えると「会社の活力」「グローバル人材育成」「ダイバーシティの地域づくり」に貢献している人たちとも言えます。一緒に働く中で「チーム」として「仲間」として共に働くにはどうしたらいいでしょうか。基調講演と企業の実践事例から学びます。



2024/1/26 (金) 13:30~16:30

場所：佐賀県庁旧館4階正庁（佐賀市城内一丁目1-59）

駐車場はこちら▶



一般駐車場①
南館来訪者
駐車場



一般駐車場②
中央郵便局
東駐車場



身体障害者用
県庁新館
地上駐車場

プログラム

- 13:30~基調講演
- 14:55~企業の事例発表①
- 15:25~企業の事例発表②
- 16:00~
参加企業同士の意見交換や情報共有
ワークショップ

※詳細は裏面をご覧ください。
※時間配分は多少前後する場合があります

参加申し込み方法（下記の①又は②の方法でお申し込みください）

①FAX：下の必要事項を記載のうえ(0952-25-7084)までお送りください。

②WEB：Logo Form：<https://logoform.jp/f/OUT7k>

または右のQRコードからアクセスしてください。

申込締め切り1月19日(金)



会社名			
住所	〒		
担当者名・部署名 電話番号	担当者名（	）部署名（	）
	電話番号（		）
外国人材の雇用状況	在留資格：	国籍：	人数：
セミナーで聞きたいこと、 得たい情報等			

参加者1	部署名		役職		氏名
参加者2	部署名		役職		氏名
参加者3	部署名		役職		氏名

基調講演

演題「これからの外国人雇用と企業に求められる取り組み」

～地域と共に進める持続可能な職場づくり～

一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎氏

兵庫県伊丹市生まれ。阪神大震災で外国人被災者の支援を機に「多文化共生センター」を設立（95年）。政府の研究会や有識者会議の構成員として「多文化共生推進プラン」（総務省・06年）や「外国人との共生社会実現のためのロードマップ」（関係閣僚会議・22年）の策定に携わる。2007年1月から「ダイバーシティ研究所」代表として、CSR（企業の社会責任）におけるダイバーシティ戦略や自治体による多様性配慮のための施策づくりに取り組んでいる。

取り組み事例の発表 ①



代表取締役
植松 信安氏



昭和8年創業以来、一貫して土木建設業に努め、社会資本の整備または災害の復旧に携わってきました。これまでは外国籍社員を雇用する機会はなかったのですが、シニア世代の技術者の退職や今後の会社の活力を考え、3年前に初めて外国人技術者を雇用しました。受入れから試行錯誤を繰り返し、なんとかやってきたつもりだったのですが、ちょっとしたところで意思疎通や理解がうまくいかず、文化背景の違いから、双方にすれ違いが起きることがありました。

今も試行錯誤中ですが、発表するニルマルさんは、家族を呼び寄せ「ずっと日本にいたい!」と、仕事も頑張り、地域との交流も積極的に行っています。



総務部 係長
井上 浩幸氏
ケーシー ニルマル氏
K.C. NIRMAL
技術人文知識国際業務
(ネパール)

取り組み事例の発表 ②



施設長
巨瀬 健介氏



私たち「ふるさとの森」は平成10年7月、山と海の幸に恵まれたここ太良町を拠点に「温かみのある誠実なケアサービス及びリハビリテーションの提供」を理念に開設した介護老人保健施設です。当施設では外国人雇用にも積極的に取り組んでいて、生まれ育った環境や文化に配慮し、個々の自主性を尊重することに重きをおいています。現在7名の外国籍の方々が介護福祉士等の職種で活躍してくれています。ミャンマー出身のユカイさんもその一人です。後輩の面倒見もよく、同国出身の住民のサポートや地域のボランティア活動にも積極的に取り組むなど太良町でもなくてはならない存在です。そして、私たちの「かけがえのない」仲間です。



人事部長
西野 絵里香氏
ユウカイ氏
Yu Yu Khaing
介護福祉士
(ミャンマー)

問い合わせ
佐賀県国際課

☎ 0952-25-7328 / 📠 0952-25-7084

〒840-8570 佐賀市城内1丁目1-59 Mail : kokusai@pref.saga.lg.jp